

会議等名	平成29年度 第3回 海老名市総合計画審議会
日時	平成29年7月6日(木) 10:00~11:10
場所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	委員：今泉委員、桐生委員、小林委員、武井委員、萩原委員、濱田委員、深須委員、藤田委員、吉岡委員、内山委員、勝田委員、杉山委員、館委員 事務局：財務部長 柳田 理恵 財務部次長 伊藤 修 企画財政課長 清田 聡 企画財政課政策経営係長 石田 恵美 企画財政課政策経営係主事 関野 大輔 傍聴者：なし
1 開 会	
2 議 題	
(1) 海老名市第四次総合計画延長に向けた答申(案)について	
	海老名市第四次総合計画 基本構想の延長について(答申案)、総合計画審議会における答申案を踏まえた基本構想の修正(案)、基本構想の延長に向けた修正(案) 新旧対照表、基本構想(案)に基づき、事務局から説明。
	<質疑・意見等>
	(委員)「3 次世代を担う子どものためのフィールド」で保育サービスの充実とあるが、具体的にはどのようなものがあるか。 →保育園の定員対策や保育園等に対する補助制度など総合的な事業を保育サービスとして示している。
	(委員)働く女性が子どもを預ける施設も含めた保育サービスと理解してよいか。 →女性に社会進出してもらうには保育の問題もあるため、子育てを支援していく中で、行政の対応が必要であると考えている。
	(委員)海老名市の待機児童は解消されているのか。 →現在、約100名程度の待機児童がおり、解消していない。 来年度は約300名の定員増加を行い、数字上の待機児童は解消されると考えているが、保育環境が改善されると新たな保育需要が発生すると捉えている。
	(委員)コミュニティ・スクールとして学校・PTA・自治会など、地域全体で学校運営に参加してもらう考え方があるが、総合戦略では示されていると思うので、こういったことを「3 次世代を担う子どものためのフィールド」に盛り込んではいかがか。 →総合計画の体系として、大局的な「6つのフィールド」の下部に22の政策・66の施策があり、その下部に各事業が示されている。 本市教育委員会においてもコミュニティ・スクールについては、推進していくこととしているが、どの部分で示していくかは検討が必要なため教育委員会と調整していく。
	(会長)海老名市の場合は、総合戦略と総合計画について満了期間や一部内容が異なるため、総合計画を2年間延長し、その延長に伴う修正を行うものである。総合

戦略との整合については、次期計画を策定する際に検討することになるかと考えるが、実施計画では検討されると思われる。

(委員) 「5 活力ある産業のフィールド」で企業立地の促進とあるが、市内のどの地域を想定しているのか。

→都市計画では、海老名ICの南側、海老名運動公園の周辺で構想している。IC付近は流通系の企業が進出しやすいことから、そういった企業が進出してくることが想定される。

(委員) 「5 活力ある産業のフィールド」には中小企業を市で盛り上げていくことは含まれているのか。

→「5 活力ある産業のフィールド」には、農業・商業・工業について規模に関わらず活性化を図っていくこととしているため中小企業も含まれている。

(委員) 横浜市では中小企業を発展させるため補助等を行っているが、海老名市でも同様の補助を行っているのか。

→本市においても、企業誘致に関する一時金や固定資産税の一定期間減免等、補助と税制面で支援する制度は既にある。

(委員) 起業する場合はいかがか。

→起業する場合においても、地域の銀行や信用金庫と連携を図りながら、起業に向けた支援を行っている。

(委員) 資料4の5ページ「人口増加を目的とした情報戦略を検討します。」とあるが、その他は「推進していく」や「行っていく」といった文言であるのに対し、この部分のみ「検討」となっているので違和感を覚えるが、どの様にお考えか。

→現在、シティプロモーション課を設置し、市内の方へ改めて海老名の魅力を知っていただくとともに、市外の方に対しても海老名の魅力を発信し、本市への転入を促進している。鉄道の車内広告等、様々な媒体で市内外に向けPRを行っているため、「検討」ではなく、積極的な文言に修正する。

(委員) 答申案2の(2)で「子育てのコストや学びのコストを抑える」とあるが、基本構想の「6つのフィールド」では盛り込まれていないように見受けられるが、「3 次世代を担う子どものためのフィールド」に盛り込まれているのか。

→分かりづらいが、ご意見の部分については、「3 次世代を担う子どものためのフィールド」に盛り込まれている。コストを抑えるということは、金額を下げるということになり、それを文言で表すことは好ましくないと考える。保育サービスを充実させるといった意味で捉えていただきたい。

(委員) 「5 活力ある産業のフィールド」について、企業立地の促進を図ることで、市外から企業は入ってくるが、地域の企業が成長するわけではない。現在も市と商工会議所が連携していることは承知しているが、補助金等の支援だけではなく、地域の企業が成長できるような文言を追加していただきたい。

→行政が企業の成長にどの様に関わっていくかは、農業や工業との関係等もあることから難しい面もあるが、地産地消のように行政が関わっていくことは可能なので、総合的に判断していく。

(委員) 直接的な意見ではないが、市で野菜の直売所マップを作成いただいたが、各直売所にもマップを配架してほしいと依頼された。直売所で他の直売所を示すことはお客を他に渡すことになるので、配れず余ってしまっているといった意見を多く聞く。

(委員) 先日、イベントに参加した際に野菜の直売所マップを拝見した。市内でこんな野菜を作っているのかなどの発見があった。

(委員) イベント等で人が集まっているところに配布することは、知らないことを発見できる良い機会だと考えている。利益に関係のない公共スペース等に配架していただくなど検討していただきたい。

(委員) 海老名市在宅医療介護連携協議会を民間に移管した後、現在、見守り隊を配置し、異常等があった場合は、地域住民と連携して対応している。こういった中、市でどれだけの対応ができるかを盛り込んでいただきたい。

→本市としては、今後も見守り隊のような地域の役割が継続できるよう、側面的に関わりながら応援していきたいと考えている。こういったものを包含した「1 健康で自立するためのフィールド」での福祉サービスの充実や環境の整備としてご理解いただきたい。

(会長) 高齢社会を嘆く方もいるが、地域で活動できる高齢の方は多くいらっしゃると思っている。人材の不足を高齢の方で補っていくというのは重要なことであると思う。次期計画では検討していただきたい。

(委員) 答申案2の(3)に「若者」とあるが、「子どもを育てながら」に掛かるとすると40歳で出産される方や子育てしながら働いている方もいる。年齢を思わせる表現が正しいのか伺いたい。

→生産年齢人口を指しているが、誤解が生じるので表現については修正を行う。

(委員) 県の支援学校が平成28年に開校した。一部の生徒の親は、支援学校に頼りすぎてしまうことがあるため、卒業後に生徒の親が在学中と同様に対応出来るかが心配という先生がいる。市内在住の卒業生は、市が支援しなければならないと考えるので、充実した支援をお願いしたい。

→本市においても、卒業後の就労については重要な課題として捉えている。障がいの状況にもよるが、就労できる方に関しては、法律で障がい者雇用について市として関わっていける様々な支援があり、「福祉サービス」にそういったものが含まれている。

(委員) 「2 心づくりのフィールド」では、国際化に関する記述がある。今後、オリンピックの開催等もあり、国際化に対応することは重要であると認識しているが、市として「交流活動を促す」とされているが、具体的な活動を行っているのか。

→本市の現状として、国際交流は進展していない。一方、外国人の転入者数が増加しているとともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催やラグビーワールドカップの公認キャンプ地への立候補を行っていることから、今後、さらに力を入れていかなければならないと考えている。

(委員) 人口増加の点で申し上げると、今後、外国人の転入がさらに増加すると思われるが、人口増加対策に外国人の転入を含めて進めるのかを含めて、国際化の検討を行っていただきたい。

(委員) 外国人の転入増加について、実際、団地等では外国人の居住者が増えてきている。外国人の方はお祭り等のイベントに参加するので交流は図れるが、地域のルールに関するトラブルが多い。については、国際化の部分にも「教えあう・学びあう」を盛り込んでいただきたい。

→今後、外国人の転入増加や、外国人が来日する機会が多くなり、社会インフラも変わってくると考えられる。貴重なご意見として次期計画に盛り込んでいくことを検討したい。

(委員) 大型店舗が成長していく中、地域の商店が少なくなっている。仕方がないことかもしれないが、考えさせられてしまう。

(会長) 地元で根ざした商店は、コミュニティの生活圏の中で成長してきている。現在、大型店舗が多く進出しているが、経済性が失われると撤退してしまい、元の状態に戻るのが非常に困難になる。については、政策的に街並みの保存と併せて、地域の商店を守るために、中心部で得た利益を使用するといったことが必要と考える。

(会長) 生活に身近なところの安定が重要であるといった意見が多くあった。中小企業の起業に関することや、地域の商店を守る取組の重要性。また、元気な高齢者や外国人を人材で活用すると意見もあった。

文言については子育て世代に関しての「若者」という表現の修正を行っていただきたい。内容については、生活感を把握し、修正可能であればご対応いただきたい。

## (2) その他

<質疑・意見等>

特になし。

## 3 閉 会

以 上